

近畿地方整備局
資料配布

配布 日時	平成22年 7月26日(月) 14時00分
----------	--------------------------

件名	第8回「大滝ダム運用環境調査委員会」 を開催
----	---------------------------

概要	<p>「大滝ダム運用環境調査委員会」は、大滝ダムの貯水池運用に伴う吉野川の自然環境の実態を調査することを目的として平成17年10月27日に設立されました。</p> <p>今回の委員会では、平成21年度調査結果報告と平成22年度の調査計画について審議されます。</p> <p>○日時：平成22年8月2日(月) 14:00~16:00</p> <p>○場所：大阪国際交流センター 3F 会議室1・2</p> <p>委員会の審議は非公開とします。 委員会の審議に先立ち頭撮りは可能とします。 委員会終了後、記者会見を実施します。</p>
----	---

取り扱い	_____
------	-------

配布場所	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ 奈良県政クラブ 五條市政記者クラブ
------	---

問合せ先	国土交通省近畿地方整備局紀の川ダム統合管理事務所 副所長 河南 良男 管理課長 紅粉 昭一 電話 : 0747-25-3013
------	--

# 第8回「大滝ダム運用環境調査委員会」を開催

## 1、開催主旨・目的

「大滝ダム運用環境調査委員会」は、大滝ダムの貯水池運用に伴う吉野川の環境変化をモニタリングし、河川環境に対する影響を軽減させるダムの運用を検討するため、吉野川の自然環境の実態を調査することを目的に平成17年10月27日に設立されました。

## 2、委員会メンバー

◎委員長 角 哲也（京都大学 防災研究所 教授）

○委員 井伊 博行（和歌山大学 システム工学部 教授）

○委員 田中 哲夫（兵庫県立大学 准教授）

○委員 竹門 康弘（京都大学 防災研究所 准教授）

○委員 矢田 敏晃（元大阪府立淡水魚試験場 場長）

### 3、開催概要

#### 1. 開催日時

- 平成22年8月2日（月） 14：00～16：00
- ※記者会見は16：30～16：50

#### 2. 開催場所

- 大阪国際交流センター 3F 会議室1・2（大阪市天王寺区上本町8-2-6）
- TEL：(06) 6772-5931

#### 3. 開催内容

- 平成21年度調査の結果報告
- 平成22年度の調査計画について

### 4、その他

- 委員会の審議は非公開とします。
- 委員会の審議に先立ち頭撮りは可能とします。
- 委員会終了後、記者会見を実施します。
- 委員会資料は、後日、事務所ホームページで公開します。

### 5、経緯

- 平成17年10月27日「大滝ダム運用環境調査委員会」を設立
- 平成18年 5月10日「第2回大滝ダム運用環境調査委員会」実施
  - ・吉野川の環境変化をモニタリングするための調査方針・計画について
- 平成18年12月7日「第3回大滝ダム運用環境調査委員会」実施
  - ・平成18年度に実施した調査のうち、10月までの結果報告について
- 平成19年4月18日「第4回大滝ダム運用環境調査委員会」実施
  - ・平成18年度に実施した調査結果報告について
- 平成19年12月27日「第5回大滝ダム運用環境調査委員会」実施
  - ・平成19年度に実施した調査のうち、10月までの結果報告について
- 平成20年5月20日「第6回大滝ダム運用環境調査委員会」実施
  - ・平成19年度に実施した調査のうち、11月から3月までの結果報告について
- 平成21年6月23日「第7回大滝ダム運用環境調査委員会」実施
  - ・平成20年度に実施した調査結果報告について

## 【 参 考 】

### 大滝ダム運用環境調査委員会

#### ○委員会の目的

大滝ダムの貯水池運用に伴う吉野川の環境変化をモニタリングし、河川環境に対する影響を軽減させるダムの運用方法を探る。

#### ○調査内容

##### ①短期的調査（H18～H21）

暫定運用実施における吉野川の生態系に及ぼす影響を調査する。

- ・ダムのある河川（吉野川本川）とない河川（支川高見川）の比較
- ・非出水期間にダムの利水効果を発現するために暫定的に貯水位を上げていたが、出水時に備えた水位降下時に下流河川に与える影響を調査する。

##### ◆これまでの調査結果について（平成20年度調査結果までの審議）

水位降下時（H20年6月）の調査により、ダム下流河川における極端な水位低下、濁度上昇等の減少は見られなかった。また、アユの冷水病の発生も少なく、成長への影響もみられなかった。これらのことから、今回調査結果（H20年6月）からは、水位降下時による下流河川への影響は小さいと考えられた。

##### ②長期的調査（H18～）

ダム下流環境の変化を調査する事によってダムの影響過程を明らかにすると共に、ダム本格運用後との比較が出来るようにデータを整理する。

- ・ダムのある河川（吉野川本川）とない河川（支川高見川）の比較
- ・ダム完成前後の比較

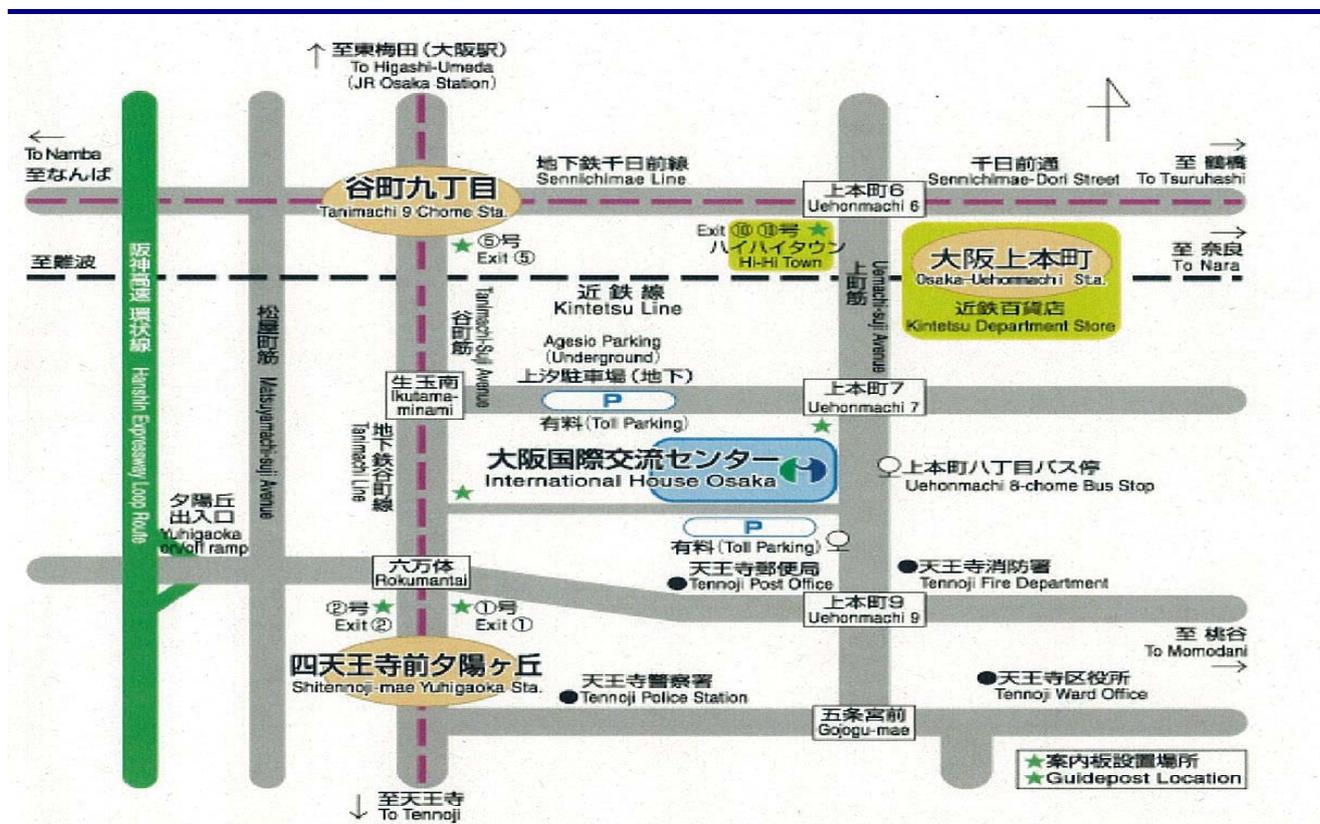
##### ◆これまでの調査結果について（平成20年度調査結果までの審議）

1. 付着藻類の調査結果から種組成には大きな変化は確認されなかった。
2. 大滝ダム下流河川における陸域では、ダム直下において堆積物の粗粒化が確認された。ただし、ダムの無い高見川の調査地点でも粗粒化の傾向があった。

#### ○今後の調査方針について

ダムによる流況変化の影響、ダムによる土砂の補足、出水時のダムによる下流河川への影響、及び長期的な河川環境の変化について、平成22年度調査計画（案）を立案し、委員会より意見をいただく。

## 最寄り駅からのご案内



## 電車をご利用の場合

- 大阪方面から・地下鉄谷町線「東梅田」より「谷町九丁目」下車
- 新大阪駅から・地下鉄御堂筋線「なんば」で千日前線のりかえ「谷町九丁目」下車
- 天王寺方面から・地下鉄谷町線「天王寺」より「四天王寺前夕陽ヶ丘」下車  
「あべの橋」発「天満橋方面行きバス（101号）または「上本町六丁目方面行きバス（62号）」で「上本町八丁目」下車  
上本町八丁目バス停から徒歩1分